



見
三
州
市
内
庭

子13
3794
1



手 413
3794
1 特

五川焉馬撰 甲春新版

荳后 三葉州 上
細見 鉦市

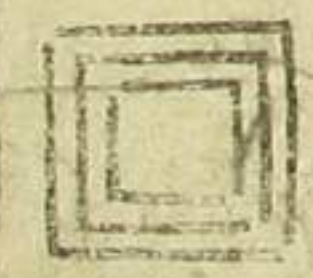
秋川國貞画

錦森堂 錦耕堂 持

抑市村座の始り
御免泉の堀
始りハ踊子供五六人
三代目村田九郎右衛門
下津間産りて幼名を竹
慶安の以社言はく
と以歳を美應二年
後寛文四年
狂言幕大道具を
志是を序

丙申孟春

立川焉馬



市川白猿
口上之
圖

高小のむらさきまはれど
 是より口上りのりて
 中上は先の大い戸
 所町中様山さげんの
 よもそんが親と海一
 配まあり
 ぐさあは
 こごりま
 せぬめり
 私ひま午の
 正月中上あ表より



種中もあはれ
 江戸表の
 上はあみあけ
 上博多織
 毛刺丸右
 染み激右
 成つ下の
 漢り文字
 ぐさあは
 せぬめり
 西のきの
 せぬめり

あまのの丹あおあひは
 所為地いしきつらり
 何うあめて三柄上白
 よもそんが親と海一
 配まあり
 のへるら上せ
 中上は先の大い戸
 所町中様山さげんの
 よもそんが親と海一
 配まあり
 せぬめり
 私ひま午の
 正月中上あ表より



種中もあはれ
 江戸表の
 上はあみあけ
 上博多織
 毛刺丸右
 染み激右
 成つ下の
 漢り文字
 ぐさあは
 せぬめり
 西のきの
 せぬめり

土の江戸

五二

おんけい節



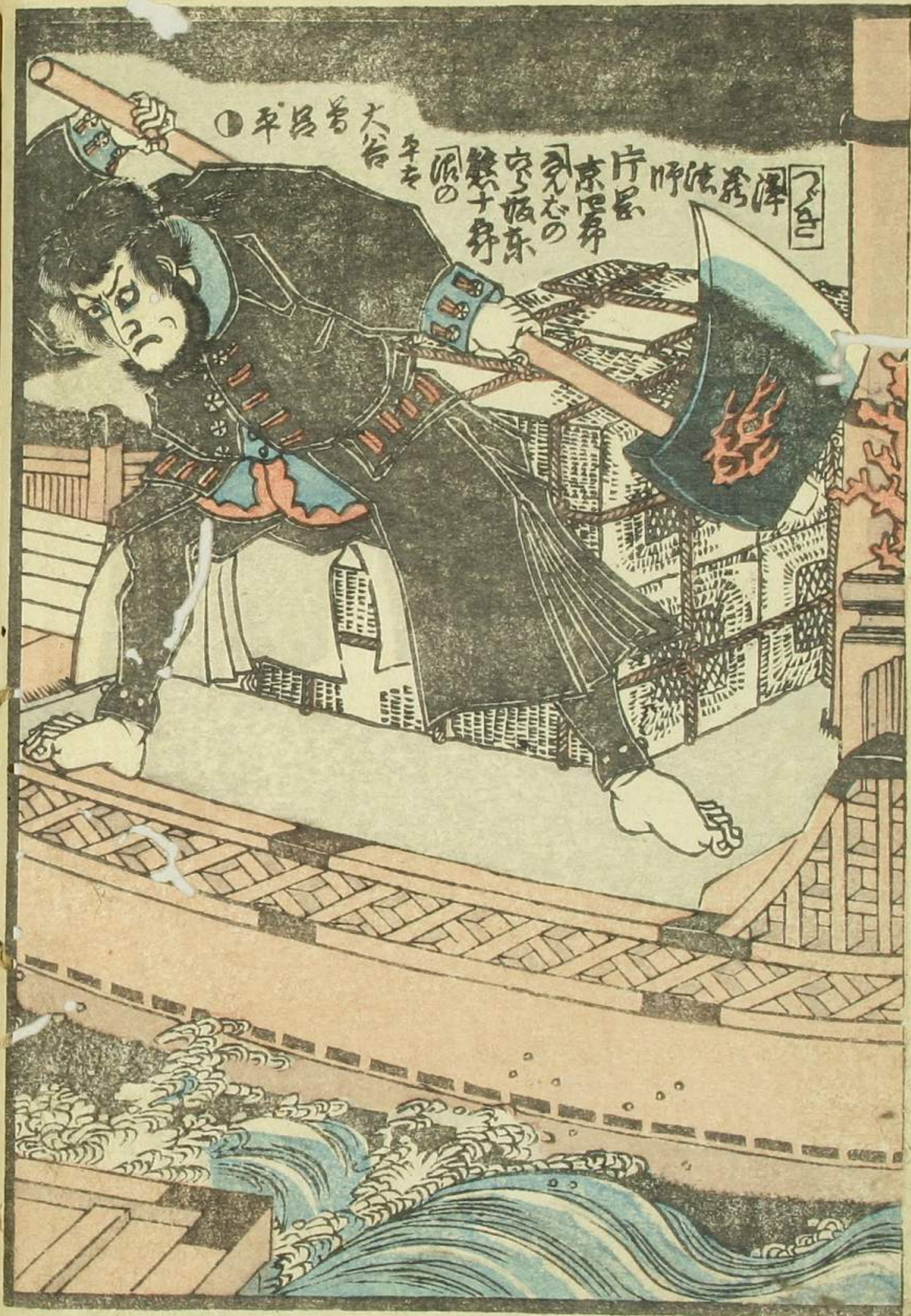
△
 玉の原の馬を籠
 の娘は三や尾上
 栄三郎一門に競
 合を有る小お茶
 助は三や尾上松助
 一門の合戦に其大
 一門へつく

天保四年
 の秋は世々
 月来年
 秋は年
 生れあつた
 の世



己のち
 大お茶
 助のち
 徳入對馬取

△
 市川
 金太夫
 十手
 せいの
 ち
 志友
 成若
 三年
 市川
 海老
 若





つゆ 奴十年松平公常市治の女尾上梅さる天塚原を市川五

丁七宿尾七又舟の女尾上梅さる天塚原を市川五
 丁七宿尾七又舟の女尾上梅さる天塚原を市川五
 丁七宿尾七又舟の女尾上梅さる天塚原を市川五
 丁七宿尾七又舟の女尾上梅さる天塚原を市川五

尾上菊女舟の女尾上梅さる天塚原を市川五
 尾上菊女舟の女尾上梅さる天塚原を市川五
 尾上菊女舟の女尾上梅さる天塚原を市川五

常陸守小治政の女尾上梅さる天塚原を市川五
 常陸守小治政の女尾上梅さる天塚原を市川五
 常陸守小治政の女尾上梅さる天塚原を市川五
 常陸守小治政の女尾上梅さる天塚原を市川五



初日市川五市川五

尾上菊女舟の女尾上梅さる天塚原を市川五
 尾上菊女舟の女尾上梅さる天塚原を市川五
 尾上菊女舟の女尾上梅さる天塚原を市川五

市川五市川五市川五市川五市川五市川五市川五
 市川五市川五市川五市川五市川五市川五市川五
 市川五市川五市川五市川五市川五市川五市川五
 市川五市川五市川五市川五市川五市川五市川五

△市川五市川五市川五市川五市川五市川五市川五
 △市川五市川五市川五市川五市川五市川五市川五
 △市川五市川五市川五市川五市川五市川五市川五
 △市川五市川五市川五市川五市川五市川五市川五

日九月... 菅原傳授新編

菅原傳授新編... 菅原傳授新編... 菅原傳授新編...



菅原傳授新編... 菅原傳授新編... 菅原傳授新編...



同着を更
 同調を更
 同男女を更
 さきせん
 塚市道
 同八の年
 同今を更
 皆し淨けりく目殺
 切切同知宜難成じ
 尾より中ふんより
 孝くく休危

本ふあん出来より対照天保六
 乙未年二月末より影程を具の
 大名領
梅春の十三時
 白旗がたすの跡に情二男を
 度大格を定む緒より婦作梅春は
 小あさき勝十郎被刺す三折瀬之助
 三折瀬之助の市巻八幡助成氏大政盛
 徳三郎の尾上初助又はらむとすの初めより
 市巻八幡助の市巻のむかひに梅春玉三郎
 梅春の母房かきとむかひのむかひに梅春玉三郎
 梅春の母房かきとむかひのむかひに梅春玉三郎

外典
 三受



中山かみり
 采りくやみ代
 要助市村形なり
 梅春の母房かきとむかひのむかひに梅春玉三郎
 梅春の母房かきとむかひのむかひに梅春玉三郎
 梅春の母房かきとむかひのむかひに梅春玉三郎

同着を更
 同調を更
 同男女を更
 さきせん
 塚市道
 同八の年
 同今を更
 皆し淨けりく目殺
 切切同知宜難成じ
 尾より中ふんより
 孝くく休危
 梅春の母房かきとむかひのむかひに梅春玉三郎
 梅春の母房かきとむかひのむかひに梅春玉三郎
 梅春の母房かきとむかひのむかひに梅春玉三郎

梅春の母房かきとむかひのむかひに梅春玉三郎

